株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月下旬開催
期末配当基準日	12月31日（中間配当金の支払いを行うときは6月30日）
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（http://www.cac-holdings.com/） ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のトピックスをはじめ、
株主・投資家様向けに様々な情報をご案内しております。
ぜひご利用ください。

http://www.cac-holdings.com/

Top Page

IR Page

株式会社 CAC Holdings
本社　〒103-0015　東京都中央区日本橋箱崎町 24-1　TEL.03-6667-8001（代表）

文字の読みやすさ（視認性）を高めたユニバーサルデザインフォントを使用し、よりわかりやすいレイアウトにしています。 UD FONT

CAC通信

Fiscal Year 2014

2014年12月期 報告書
2014.1.1…2014.12.31

CAC

連結業績概要(2014.1.1 ～ 2014.12.31)

グローバル展開を推進し、新領域への布石を打ちました。

代表取締役社長 酒匂 明彦

新規連結子会社の寄与に加えて、金融・信託向けITサービスが伸長し、増収増益となりました。

2014年度は、持株会社体制への移行とともに、インドIT企業のAccel Frontline Limited(AFL)の子会社化が大きなトピックであり、同社の連結寄与によってグループ売上高は500億円を超えました。また、国内ITサービスも、金融・信託向けが伸長しました。医薬品開発支援分野は、好収益の臨床開発案件の収束で減益でしたが、増収基調は続きました。これらにより、当期純利益は期初計画水準を達成し、期末配当金は、計画どおり1株につき16円とさせていただきました。

AFLの子会社化は、当面の連結業績への寄与以上に当社グループにとって意義のある施策と言えます。近年の大きな課題だったグローバル展開を推進することができたのはもちろん、IoTなど拡大が見込まれる新領域にも布石を打つことができました。

2015年度も、中長期の成長に向けた投資を行いながら、増収、営業増益を見込んでおり、引き続き株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えています。

連結業績概況(1～12月) (単位：百万円)

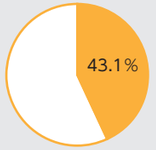
	当年度(2014年度)	対前年度増減率(%)
受注高	50,687	26.8
売上高	50,031	22.1
営業利益	3,191	26.2
経常利益	3,000	12.6
当期純利益	2,343	54.7

サービス別・業種別の概況

サービス別売上高

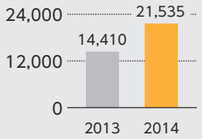
システム構築サービス

構成比



主要なサービス
- システムコンサルティング
- システム開発
- システム保守
- インフラ構築
- パッケージインテグレーション

売上高 (単位：百万円)

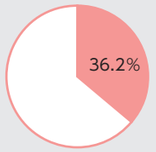


ポイント

AFLの連結寄与に加え、既存グループ会社において金融・信託分野向けが増加したことにより、売上高は前年度比49.4%増加の215億35百万円となりました。また、営業利益は16億84百万円となりました。

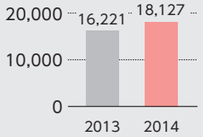
システム運用管理サービス

構成比



主要なサービス
- 運用コンサルティング
- システム運用
- アプリケーション運用
- データセンター
- ヘルプデスク／コールセンター

売上高 (単位：百万円)

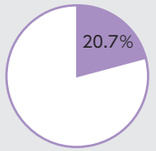


ポイント

既存グループ会社は減収となったものの、AFLの連結寄与により、売上高は前年度比11.8%増加の181億27百万円となりました。また、営業利益は4億43百万円となりました。

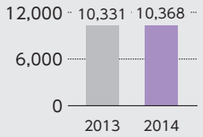
BPO/BTOサービス

構成比



主要なサービス
- ビジネスプロセス・アウトソーシング
- ビジネストランスフォーメーション・アウトソーシング

売上高 (単位：百万円)

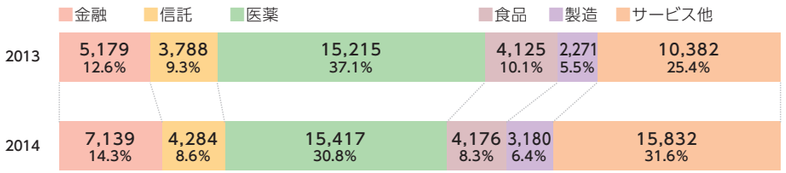


ポイント

人事BPOサービスが減収となったものの、医薬品開発支援サービスが増収となったため、売上高は前年度比0.4%増加の103億68百万円となりました。また、営業利益は10億62百万円となりました。

業種別売上高

金融・信託向けが増加。AFLの連結寄与によりサービス他向けも伸長。



(単位：百万円)

2015-17年度中期経営戦略

市場構造の変化が継続

国内ITサービス市場は、情報通信機器だけでなく、様々な「モノ」に通信機能を持たせ、相互に通信させることによって新たな価値を生み出すIoTなど新たな分野の成長が期待される一方、企業のグローバル化に伴ってIT投資の海外シフトが続くことにより、企業向けシステムの開発や運用が頭打ちとなっています。

また、企業の業務を受託するBPO(Business Process Outsourcing)サービスが、間接業務だけでなく売上成長やイノベーション創出につながるコア業務に拡大しつつあり、ITサービスを上回る市場成長率が見込まれています。

国内市場の動向

- IoT(Internet of Things)
- クラウド、モバイル、ビッグデータ、ソーシャル技術
- IT機能を含むBPOサービス
- 企業向けシステムの開発や運用(従来の主力市場)

事業構造改革を加速
ー IT活用による革新への貢献を期待される企業グループへ ー

市場の変化に対応すべく策定した当社グループの2015-17年度中期経営戦略では、知識集約により提供サービスの生産性と品質を高めるとともに、グローバル対応力を拡充し、さらに顧客の戦略的投資の引き受け手となって受注を拡大することを眼目に、「新主流技術の追求」などの6つを基本戦略としています。

こうした取組みにより、当社グループの成長余力を高めて株主の皆様からのご期待に応えるとともに、IT活用による革新への貢献を期待される企業グループとして存在感を確かなものにしてまいりたいと考えています。

6つの基本戦略

新主流技術の追求

特にIoTによる新市場形成を想定し、すでに同分野に参入済みのAccel Frontline Limitedなどグループ各社と協働し、研究開発とマーケティングに取り組みます。

BPO付加価値増大

既存事業(医薬品開発支援および人事BPO)における高付加価値化を進めるとともに、企業年金などITサービスのみを提供している分野で、業務の受託まで包含したサービスの展開を目指します。

All in AZAREA

独自の開発基盤として整備してきたAZAREAをシステム運用も含むサービス提供の基本プラットフォームとして拡充し、これをベースとして知識集約型企業への進化に注力します。

アジア軸でのグローバル支援体制活用

インドのAccel Frontline Limited、中国のCAC上海および高達計算機技術を軸としてグローバル支援体制を確立し、既存顧客における海外IT需要の獲得を目指します。

新事業領域へのチャレンジ

内部留保資金を活用してベンチャーなど外部経営資源への投資を行い、当社グループにとっての未開拓領域進出に挑戦します。

グループ横断的戦略による企業力の強化

グループ各社の連携を強めるとともに、グループ共同で次世代人材育成に取り組み、長期的発展の基盤を作ってまいります。

トピックス

「IT賞」を3年連続受賞
ー 年金管理業務の効率化への貢献が評価ー

CACは、自社開発の年金管理パッケージ『Micmari(みくまり)』を活用したサービスが日本の年金管理業務の効率化に貢献すると評価され、公益社団法人企業情報化協会から平成26年度IT賞のITビジネス賞を受賞しました。CACは、3年連続の受賞となります。Micmariは、管理モデルを従来の年金制度単位、組織単位を重視したものから一新し、個人単位のライフサイクルを重視した管理モデルを実現しました。加えて、制度変更への柔軟性を高めたことにより、受託機関や基金、事業所など管理組織の業務効率化に大きく貢献します。当社グループの目指す知識集約型ビジネスを体現するものであり、今後、信託銀行などによる採用拡大を見込んでいます。

第15回「テレワーク推進賞」の優秀賞・会長特別賞を受賞

CACは、2011年からワークスタイル変革とそれに必要なIT基盤刷新に取り組んできました。ITを活用して在宅勤務などのテレワーク環境を整備することで、子育てや介護に携わりながら仕事を続けたり、日本と海外で緊密に連携して業務を行ったりということが可能になります。これにより、生産性の向上、多様な人材の確保、コスト削減などの効果が見込まれます。こうした取組みが高く評価され、CACは、一般社団法人日本テレワーク協会が主催する第15回テレワーク推進賞の優秀賞・会長特別賞を受賞しました。

※テレワーク推進賞受賞企業一覧(日本テレワーク協会サイト)
http://www.japan-telework.or.jp/topics/69.html

株式の状況・会社情報

株式の状況 (2014年12月31日現在)

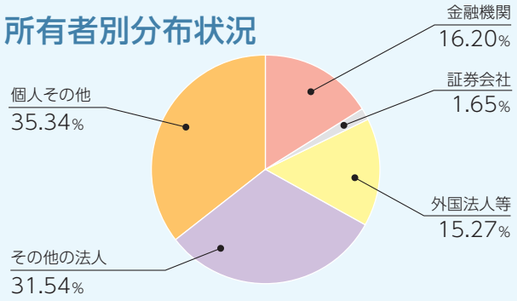
発行可能株式総数	86,284,000 株
発行済株式の総数	21,541,400 株
総株主の議決権の数	199,042 個
株主数	5,263 名

大株主

株主名	議決権数 (個)	議決権比率 (%)
株式会社小学館	35,122	17.64
アステラス製薬株式会社	10,777	5.41
キリンホールディングス株式会社	9,334	4.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,126	4.08
CAC社員持株会	6,883	3.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,702	3.36
株式会社三井住友銀行	4,840	2.43
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,772	1.89
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	3,075	1.54
東洋ゴム工業株式会社	2,890	1.45

(注)当社は、2014年12月31日現在、自己株式1,634,043株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別分布状況



※構成比は株式数の比率を示しております。

会社の概要 (2014年12月31日現在)

商号	株式会社CAC Holdings
英文社名	CAC Holdings Corporation
本社	東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 TEL.03-6667-8001 (代表)
設立	1966年8月8日
資本金	37億204万円
従業員数	17名 (グループ従業員数4,833名)

役員 (2015年3月26日現在)

取締役会長	島田　俊夫
代表取締役社長	酒匂　明彦
取締役	髙橋　久
取締役	チェン・ビン
取締役	メヘタ・マルコム
社外取締役	花田　光世
社外取締役	松島　茂
社外取締役	廣瀬　通孝
社外取締役	黒田　由貴子
常勤監査役	松村　晶信
常勤監査役	大須賀　正之
社外監査役	藤谷　護人
社外監査役	石井　光太郎